

7月30日(火)

暗闇の中の3日間

聖書朗読 ヨナ書 1:1~17

私はあなたの恵みに拠り頼みました。私の心はあなたの救いを喜びます。

詩篇 13:5

ヨナは大きな魚の腹の中でどんな気持ちだったのだらうと考えてみたことはありますか。聖書によると、彼は三日三晩いたとあります。丸三日間、ヨナは自分の置かれた状況についてじっくり考え、神様はどうされるだろうかと思いを巡らしました。我に返って、神様のことばに従うべきだった、主の御顔を避けてのがれようとすべきではなかったと悟るのに三日かかりました。

当時のサウロ(パウロ)も同じような経験をしました。クリスチャンを迫害するためにダマスコに下る途上で、主が彼に現われ、サウロは三日間、目が見えませんでした。闇の中で三日間過ごし、彼は自分の運命を考え、これから自分にどんなことが起こるだろうかと思いを巡らし、やがて自分は神様のみこころに従わないで、神様と闘っていたのだと分かりました。

時々、私たちは立ち止まって、神様が私たちに備えてくださっている道歩んでいるかどうか考えなければなりません。歩んでいる時もあるでしょう。優先順位を再評価したり、方向転換をしたりしなければならぬ時もあるでしょう。ただ人生をぼーっと生きてはいけません。祈りをささげ、あなたの人生における神様のみこころを思い巡らす時を持ちましょう。

讚美歌 291 主にまかせよ

祈り 神様、私たちの中に住まわれ、私たちがいつくしんでくださってありがとうございます。時が良くても悪くても、あなたを求めることができますように。私たちの信仰を増し、歩みをお導きください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル / ケビン B・レイチェル

7月31日(水)

とどめの一言

聖書朗読 ヨナ書 4:4~11

ニネベの人々が、さばきのときに、今の時代の人々とともに立って、この人々を罪に定めます。なぜなら、ニネベの人々はヨナの説教で悔い改めたからです。しかし、見なさい。ここにヨナよりもまさった者がいるのです。 マタイ 12:41

言い争いは収拾がつかなくなるのがしょっちゅうです。双方とも相手に決定的なことを言わせたくないからです。“そんなこと言ってない。あなただってそう言ったじゃない。”私たちが神様と同じように相対するとしたら、神様がつねに決定的なことをおっしゃいます。神様が“ノー”と言われているのに、私たちは“イエス”を望んでいるかもしれません。神様の言葉はそれだけで決定的ですが、私たちはそれ以上のことを望んでいるかもしれません。神様の決定が恵みであるのに、私たちは復讐を望みがちです。そこにヨナの問題がありました。

私たちが物事の成り行きに対して抱く怒りは、神様に対して論争を続けたいと言っているに過ぎません。私たちは、自分たちこそ神様のお気に入り、私たちの計画、希望、伝統、解釈が正しいのだと考えているかもしれません。でも、神様はあらゆる国民を愛しておられます。神様の目にはすべてが尊いのです。神様を私たちに従わせるのではなく、私たちが神様に従いましょう。

ヨナ書はいきなり終わります。神様とヨナとのやり取りは最後まで行く前に終わります。ヨナは頑なな行動を悔いたでしょうか。聖書の別の箇所を読めば答えが得られます。ヨナよりもまさった者、イエス様こそ、神様のとどめの一言です。

神様は、モーセ、ヨブ、アナニヤとサツピラ、弟子たち、ヨナに対して、決定的なことをおっしゃいました。私たちに對しても神様のお言葉は決定的です。

讚美歌Ⅱ 167 われをもすくいし

祈り 神様、あなたはいつくしみに富み、情け深く聖なるお方です。そのようなお方に祈っているのだということをいつも覚えていられますように。この世に対するあなたの決定的なお言葉を常に受け入れることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 ユカイパ / ポール・トーマス

8月1日(木)

人のすべての考えにまさる平安

聖書朗読 ハバクク書 3:1~2、16~19

そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。
ピリピ 4:7

人生は時に崩壊しそうになります。一瞬のうちに、悲劇が生じ、あなたの胸に重くのしかかります。信仰を持つ者は予期せぬ時にあって、どのように平常心を保つのでしょうか。

預言者ハバククがヒントをくれます。ハバクク書の最後で彼が語っているのはまさにユダ王国の滅亡のことです。彼が記述している、いちじくの木は花を咲かせず、ぶどうの木は実をみのらせず、畑は食物を出さず、羊は囲いから絶えるという恐ろしい状況は、戦いに惨敗し荒れ果てている光景に他なりません。本当にひどい時代で、何もかもが奪われてしまったかのように見えます。

でも、ハバククは、いかなるものも、いかなる人も、私たちから神様を奪うことはできないという真実を知っていました。彼の言葉によって、私たちは嵐を持ちこたえ、慰めが見当たらない時に慰めを得ます。この世にあっては困難があります。でも、神様の御前には平安があります。神様が与えてくださる平安は、私たちの状況に左右されません。それは神様からの贈り物です。

あなたの人生が崩れ落ちそうな時、神様に向かってください。全てがダメになったとしても、神様は決して滅ぶことのない私たちの岩です。混乱や困難の中でも、神様とともにあって安きを得ましょう。神様は必ず平安を与えてくださいます。

讚美歌 295 やすしや、罪の世にも

祈り 神様、あなたこそ私たちの平安です。あなたが与えてくださる恵みによって、今日、起こるかもしれない如何なることにも立ち向かうことができます。いつもあなたに信頼する信仰をお与えください。イエス様のお名前によって。アーメン。

ノースカロライナ州 ヘンダーソンビル / イーサン E・ブラウン

8月2日(金)

神様の光を輝かせる

聖書朗読 マタイの福音書 5:13~16

このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

マタイ 5:16

どのように一日を始めていますか。朝目覚めた途端、早速、その日やらなければならぬ厄介なことを心配しだすかもしれません。起き出す前にもうストレスと不安を感じているかもしれません。あるいは、私たちのうちに住まわれる神様から放たれる光を輝かせ、神様の恵みと栄光を通して、その日を見ようとすることもできます。神様の光を輝かせてこそ、他の人々を神様のもとに導くことができるのです。

人生には曇りの日があるとしても、光の贈り物を輝かせることができる、“何て良い気持ちなんでしょう”という歌詞の歌がありましたね。

神様の子どもとして、私たちが人生において善い人、悪い人、イヤな人にどう接するかが神様の光の反射になるのだということを覚えておきましょう。『何をするにも、人に対してではなく、主に對してするように、心からしなさい。』(コロサイ 3:23)あらゆる瞬間が神様のご栄光のために私たちの光を輝かせるチャンスです。

讚美歌 326 光に歩めよ

祈り 主よ、み恵みによって、人生のいかなる場面でも、あなたがいてくださると教えてくださってありがとうございます。日々、常にそこにある光の贈り物を分かち合うことを覚えていられますように。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

カリフォルニア州 エスコンディード / プルーデンス C・ウィリアムズ



8月3日(土)

他の人ができないことをする

聖書朗読 マタイの福音書 5:43~48

愛する者たち。私たちは、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。 ヨハネ I 4:7

“まさか、イエス様がそんなことと言われるわけないでしょう。” 私たちは普通、マタイ 5章のイエス様の御言葉にそんな風に接しているのではないのでしょうか。イエス様の教えは、私たちの自然な欲求とはかけ離れています。

確かに、誰かが何かしたり言ったりして、そのことで彼らと敵対関係になってしまったということがあります。あなた自身に対する言葉かもしれないし、家族に対する悪口かもしれません。あなたについての誤った陰口を他の人たちが信じ込んでしまったのかもしれませんが。事情はどうであれ、そういった場合に感じる気持ちはおわかりになるでしょう。

イエス様は、そういう人を愛しなさいとおっしゃいました。簡単なことだとはおっしゃいませんでした。自分を愛してくれる人を愛するのは簡単です。あなたに良くしてくれる人に良くするのは簡単です。決してあなたの助けにはならない人を助けるのはどうでしょうか。全然、簡単ではないです。

でも、そういうことを、イエス様は弟子たちにしなさいと言われるのです。あなたを憎んでいる人を愛しなさい。あなたの悪口を言っている人たちに、優しい親切な言葉で話しかけなさい。あなたを敵だと思っている人たちに良いことをしなさい。イエス様はそう望んでおられます。

讚美歌 389 あだを愛せよと

祈り 神様、あなたは、私たちがあなたの愛に値しない時に、私たちを愛してくださいました。私たちもそのような愛を、私たちにひどいことをする人たちにも伸べられますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 マイラン / チャド・イーゼル

8月4日(日)

日ごとの糧以上の恵み

聖書朗読 マタイの福音書 6:5~15

私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。 マタイ 6:11

神様にお願いする時には、どんなに大きなことでも大丈夫だと私たちは知っています。神様は、神様を愛する人々のためには、すべてのことを働かせて益としてくださいます。たとえ最悪の状況であっても、神様は思いもよらない恵みを与えてくださいます。

でも、私たちは、神様の御国と神様の義とあまり関係ないようなものを求めて祈ることが多いです。イエス様が『こう祈りなさい。』と教えてくださった時、きょう必要な糧をお与えくださいと祈るように教えられたのは興味深いです。

今までの人生でパンしか食べるものがなかった日が何日ありましたか。そんな日があったとして、本当にパン一枚しか買うことができなかった日がそのうち何日ありましたか。

あなたにひとつの課題を出します。今日、神様にお願いするのは、一日生き延びられるだけのパンのみにしてください。次に、神様が与えてくださったものすべてを数えてみてください。パンだけではなくて、3食しっかり食べましたか。車はどうですか。着る物は、教育は、仕事はどうですか。家族と一緒にのささやかなお楽しみがあったのではないですか。私たちが生き続けていること自体が神様からの贈り物だとわかったら、神様が私たちに圧倒的な惜しみない寛容さをもって与えてくださっていることがわかり始めます。

讚美歌 86 み神のめぐみは

祈り 主よ、今日、飢えないですむだけのパンをお与えください。それ以上のものを与えてくださるのなら、あなたの私たちへの恵みを心から感謝することができますように。キリストにあって。アーメン。

テキサス州 コーパス クリスティ / マーク・アダムズ

